

みずほCustomer Desk Report 2019/02/18 号(As of 2019/02/15)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	110.54	1.1295	124.85	1.2794	0.7104
SYD-NY High	110.64	1.1306	124.86	1.2897	0.7148
SYD-NY Low	110.25	1.1234	124.24	1.2785	0.7080
NY 5:00 PM	110.47	1.1294	124.73	1.2888	0.7139
NY DOW	25,883.25	443.86	日本2年債	-0.1700	0.00bp
NASDAQ	7,472.41	45.45	日本10年債	-0.0200	0.00bp
S&P	2,775.60	29.87	米国2年債	2.5172	2.26bp
日経平均	20,900.63	▲ 239.08	米国5年債	2.4923	2.01bp
TOPIX	1,577.29	▲ 12.52	米国10年債	2.6635	0.90bp
シカゴ日経先物	20,900.00	100.00	独10年債	0.1015	▲ 0.05bp
ロンドンFT	7,236.68	39.67	英10年債	1.1585	1.05bp
DAX	11,299.80	210.01	豪10年債	2.1015	▲ 3.15bp
ハンセン指数	27,900.84	▲ 531.21	USDJPY 1M Vol	5.39	▲ 0.44%
上海総合	2,682.39	▲ 37.31	USDJPY 3M Vol	6.54	▲ 0.02%
NY金	1,322.10	8.20	USDJPY 6M Vol	7.20	▲ 0.08%
WTI	55.59	1.18	USDJPY 1M 25RR	-0.95	Yen Call Over
CRB指数	181.33	2.61	EURJPY 3M Vol	7.33	0.16%
ドルインデックス	96.90	▲ 0.07	EURJPY 6M Vol	7.95	0.00%

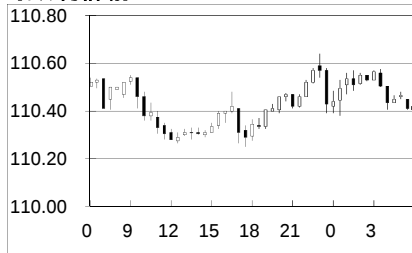
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月15日	10:30	中 CPI(前年比)	1月 1.7%	1.9%
	10:30	中 PPI(前年比)	1月 0.1%	0.3%
	13:30	日 鉱工業生産(前月比/前年比)・確報	12月 -0.1%/-1.9%	-
	18:30	英 小売売上高(除自動車燃料、前月比/前年比)	1月 1.2%/4.1%	0.2%/3.2%
	22:00	欧 クーレ ECB 専務理事 講演	「新たな貸出条件付き長期資金供給オベ討議中」	
	22:30	米 NY連銀製造業景気指数	2月 8.8	7
	23:15	米 鉱工業生産(前月比)	1月 -0.6%	0.1%
	23:55	米 ボスチック・アトランタ連銀総裁 講演	「軟調な米指標、急速な景気減速は示唆せず」	
2月16日	00:00	米 ミシガン大学消費者マインド・速報	2月 95.5	93.7

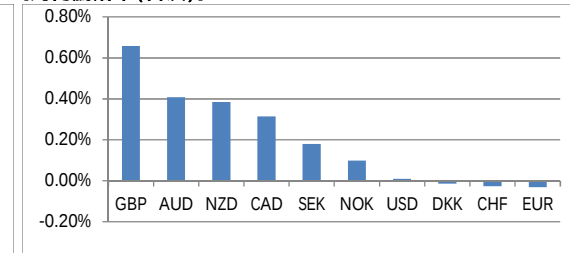
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月18日	08:50	日 コア機械受注(前月比/前年比)	12月 -1.1%/3.4%	0.0%/0.8%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.00-111.50	1.1250-1.1350	124.00-125.50

【マーケットインプレッション】

前週末の海外時間のドル円は、110円台半ばでもみ合い。米経済指標が強弱ミックスな内容だったことを受けて多少幅の出る場面もみられたが、米中による貿易協議の継続決定等を背景にレンジ内での動きに終始、110.47レベルで越えた。注目された米中間僚級貿易協議は15日に終了したものの、決裂には至らず継続協議となった。市場ではやや楽観的に捉えている向きもあり、全般的に市場センチメントは悪くない。ドル円も上方向へのリスクをみておくべきだろう。

東京	東京時間のドル円は110.54レベルでオープン。前日の海外市場の流れを引き継ぎ、ドル売りが先行。日経平均が大幅に下落したことや中国1月PPIが市場予想を下回る結果となったこと等を背景に110.27まで下落。午後に入るとドル円は下げ渋り110.30を挟んでの小動きとなり110.39レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、110.39レベルでオープン。朝方は前日の弱い米小売売上高への嫌気や、米国家非常事態宣言への警戒感から一時110.25円まで売られる。一方、110円台前半では底堅い展開となり反発、110.52レベルでNYに渡った。ポンドは、1.2808レベルでオープン。朝方は英小売売上高が予想対比上振れたことで買いが優勢。一時1.2831まで買われるも、その後は反落。昼頃、ドル独歩高が進んだ局面では一時1.2785まで下落するも下げ渋り、1.2814レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルー00531 444 179 北原)
ニューヨーク	NY市場のドル円は110.52レベルでNYオープン。朝方は、2月NY連銀製造業景気指数が予想を上回ったことから110.64まで戻すが、続いて発表の米1月鉱工業生産が予想を下回り、前回分も下方修正されたことから110.39まで反落する。10時に発表の2月ミシガン大学消費者信頼感指数は、株価上昇を背景とし前回から上昇したものの、10時半からのトランプ大統領のスピーチを控え、ドル円は110.38まで下落する。トランプ大統領は、非常事態宣言に署名することを明言する一方、中国との貿易交渉はうまくいっていると発言し、来週も交渉が継続することから、株式市場が堅調に推移する動きに、ドル円は110.57まで戻す。午後は米連休を控え、方向感の無い調整中心の取引が続き、110.47レベルでクローズした。一方ユーロ円の下落に上値の重いユーロドルは、1.1263レベルでNYオープン。朝方はクーレ ECB 専務理事が「新しい ITLTRO の可能性もあり、今議論している」と発言したことからユーロ売りが持ち込まれ、前日の安値1.1248を抜け、1.1234まで下落する。しかしこのレベルではショートカバー意欲も強く、弱い米鉱工業生産結果もあり、1.1286まで戻す。午後に入ると一段と米株式市場が上昇する動きや、週末を控えた調整に1.1306まで戻す。終盤に掛けては開散な推移が続き、1.1294レベルでクローズした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:末木・玉井